

4 わたしたちにできることってなんだろう

(6) 地球温暖化の影響に適応するために

ア 自然災害から自分を守り(自助), みんなも守る(共助)

1年に降る雨の量や雨が降る日数は以前と変わりはありませんが、近年、地球温暖化の影響とみられる集中豪雨(同じような場所で数時間にわたり強く降り、100mmから数百mmの雨量をもたらす雨)が増えています。

また、台風についても発生回数、日本への接近数、上陸数は変わりませんが、非常に強い台風が増え、台風による雨が強くなると予測されています。

このような大雨は、洪水や山くずれなどの自然災害を引き起こし、わたしたちの暮らしに影響をおよぼします。

調べてみよう

大きな自然災害が起こると、洪水や山くずれを引き起こすことがあります。

下の写真を見て災害が起こるとどうなるか調べたり、考えたりしてみましょう。

洪水の様子



【出典】九州地方整備局

山くずれの様子



自然災害に備えて、自然災害による被害を防ぐことを「防災」、自然災害が起きた時の被害をできるだけ少なくすることを「減災」といいます。

自然災害から暮らしを守るためには、国や都道府県などの防災の取り組み(公助)だけにたよらず、自分の身は自分で守ること(自助)、同じ地域に住む人々どうして助け合うこと(共助)を考えなければなりません。

災害は急にやってくるから、防災訓練の時からどう行動するか考え備えておく必要があるね。



調べてみよう

自然災害から命を守るためには、自助や共助を行うことが大切です。どのようなことができると思いますか。

自助	共助

○ハザードマップで避難場所を確認してみよう

ハザードマップ(浸水)



【出典】福岡市

※ハザードマップ

災害が起こる可能性がある地域、避難場所や経路を示した地図。洪水や土砂災害、津波などいろいろな種類がある。